

事業名	「親子でながらスマホゼロ」をめざそう！
団体名	水戸更生保護女性会（水戸市）
連携・協働団体	水戸市立五軒小学校・五軒小学校PTA、ふあいぶたうんコミュニティ、五軒市民センター、見和めぐみ保育園
事業のねらい	<p>現代の日常生活の中で、スマホを取り巻く様々な問題が指摘されている。とりわけ、ながらスマホによる交通事故、親（大人）がスマホ片手に、子どもに声をかけるでもなく、視線を合わせることもなく歩いている姿、スマホに子守をさせている親、この様な現状に危機感を感じた。</p> <p>次代を担う青少年の健全な育成に努めるためには、健全な家庭づくりを目指し、親子の絆を深め、ともに向上することが肝要かと思い至った。</p> <p>そのためには、地域の関係機関・団体と連携協力して、「ながらスマホゼロ」事業に取り組むこととした。</p>
活動の内容	<p>1. 講演会</p> <p>題名 ちょっと待った！インターネット ～知って安全知らないとコワイあれこれ～</p> <p>講師 茨城県メディア教育指導員 鈴木慶子 氏</p> <p>日程 平成28年11月5日（土）</p> <p>場所 水戸市立五軒小学校 体育館</p> <p>人数 80人（児童、保護者、教員、地域住民など）</p> <p>内容 インターネットの危険性と安全な利用法に関する話の中で「ながらスマホ」についても触れ、児童が「大人のながらスマホをなくすにはどうしたらよいか」について話し合った。</p> <p>2. 広報啓発</p> <p>講演会で児童から「大人のながらスマホをなくすにはどうしたらよいか」についての提案を元に、啓発チラシを作成した。</p> <p>① チラシ配布</p> <p>五軒小学校全児童へ配布するとともに、地域住民へ回覧板を活用して啓発活動を行った。</p> <p>② ポスター掲示</p> <p>五軒小学校、五軒市民センター、五軒地区の掲示板にそれぞれポスターを貼った。</p> <p>③ 啓発活動</p> <p>五軒小学校へ入学する予定の新入生の保護者を対象とした説明会の中で、「ながらスマホゼロ」を呼びかけた。</p> <p>また、五軒地域の文化祭及び更生保護新春お茶会において、本運動のぼり旗の設置及びリーフレットの配布を行った。</p> <p>さらに、五軒地区の広報誌「ふあいぶたうん」紙上で活動を紹介してもらった。</p> <p>④ 未就学児の保護者への啓発</p> <p>平成29年1月31日（火）、水戸市にある見和めぐみ保育園において、チラシとリーフレットを配布すると共に、ながらスマホゼロ活動について説明し、取り組みを呼びかけた。</p>
効果及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 児童が「大人がお手本になってほしい」と望んでいることを感じ取ることができた。私たちは、子どもたちから信じられる大人になるよう、日頃の行動に気をつけなければならないと猛省した。 当初目標に掲げた「あまち間口を広げず、身の丈に合った事業を」という観点から見れば、五軒小学校区において小学校やPTA、地区の皆様と連携協力できたことは、今後の活動につなげることができたと思う。

問合わせ先	<p>水戸更生保護女性会 会長 大和田 英子 〒310-0033 水戸市常磐町2-4-26 TEL 029-231-2295</p>
活動の様子	 



◆ 五軒小学校5年生からの提案 ◆

- まず大人がお手本を！
- 勇気を出して声をかけよう
「ながらスマホやめようよ！」



青少年健全育成県民運動発足50周年記念
平成28年度「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業
水戸更生保護女性会
事務局：水戸市常磐町2-4-26 TEL 029-231-2295